

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 7 (2025) 年 8 月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 事業部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>

受付時間

10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月 1 日

酷暑／希望

下戸 稔

専門学校福岡医療経営学院 診療情報管理専攻科 科長
DPC コース小委員会 委員

いろいろなニュースが飛び交う毎日ですが、最近は何れも無視できそうもないほど厳しいものが多いと感じています。

私の暮らす九州地区では、6月に始まったばかりの梅雨がすぐに明け、その後気温は一気に上昇し酷暑の夏を迎えました。また、悪石島周辺での度重なる地震や新燃岳噴火など、自然の脅威が日々の生活を脅かしています。さらに、長期化するウクライナ・ロシアの戦火、中東での緊張、トランプ関税、物価高騰、備蓄米騒動——国内外の世情は不安定さを増しています。

こうした世情不安の中、私たち医療業界にも大きな試練が訪れています。2025年および2040年問題といわれますが、既に2024年度の出生数（推定値）が70万人を割り、死亡数は130万人を超え、合計特殊出生率は1.15（2024年）と過去最低を更新しました。当然、生産年齢人口の減少は社会保障制度に深刻な影響を与えます。その上、高度化する医療機器等の設備費高騰に加え、人件費・資材費および老朽化した建造物の更新費用の調達など、医療経営に関しても不安材料を上げるときりがないほど問題が山積みです。社会保障費の枯渇が心配される中で、果たして十分な診療報酬の仕組みを維持できるのか、今後の政策についても不安が募るばかりです。

しかし、このような時代背景であるからこそ、我々はICT、医療DXの潮流に注視していなくてはなりません。今まさに現場の診療情報管理士は、電子カルテの標準化、AIを実装した機器の実用化という時代の要請に対して、効率化と同時に、医療の質の担保、患者の安全確保という要件をどのように確保するのか、新たな知識習得や理論武装が求められています。まさに情報を取り扱う専門職として、その実現に必要な人材としての試金石となりえるのかも知れません。

受講生の皆様は、このような世情を見聞きして、日頃の学習の過程で不安や悩み事を抱えることがあるかも知れません。しかし、少し大げさかもしれませんが、皆さんの一步一步が、医療を支える礎になっていきます。そして、これからの人生設計や日々の業務に対して、希望を胸に歩みを進めている方々だと確信しています。なぜなら、これまでの日常から大きく舵を取り、新たな資格取得を目指すことを決心したその行動そのものが「希望」であるからです。受講を進める中でその回答を発見することもあれば、難しいと感じることもあるかも知れません。是非ともその初心を大切に、新たな一歩を踏み出す日の準備を進めていってください。

希望は、静かに芽吹きます。冷静に、柔軟に、誇りを持って前に進みましょう。